

持続可能な農業の未来を①

『田布施町農業支援センター』が始動

4月27日(月)に、田布施町農業支援センターの設立総会を開催しました。このコーナーでは、数回にわたり、同センター(役場3階)の活動内容を紹介していきます。

■地域農業の課題

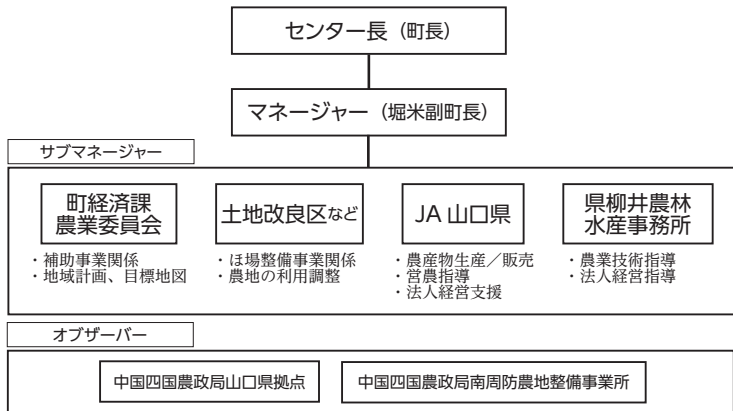
町では、平成23年より実施中の国営ほ場整備事業を契機に、集落営農法人の設立や担い手への農地集積などを通じて地域農業を支援してきました。一方、町内は中山間地域が多く、高齢化や人手不足に伴い、農業に関わる人材の確保や農村地域の維持活動が大きな課題となっています。

■新しい農業支援のカタチ

地域農業の活性化と持続可能な発展を目指し、町は山口県や関係機関と連携し『田布施町農業支援センター』を設立しました。同センターでは、農業経営支援や地域計画の具現化、新規企業参入の推進、地域ブランド農産物育成などの取組を進めるとともに、持続的発展に資する計画の策定を目指します。



▲設立総会の様子



▲センター構成機関



▲実証ほ場での作業の様子

田布施町農業支援センターの設立に際し、マネージャーを拝命しました。町長を筆頭に、関係機関と協力しながら、農業の活性化を通じて田布施町の発展に寄与できるよう、職務を果たしてまいります。

農業というと、高齢化や人材不足など、様々な課題に直面しており、どうしても暗い話題が多くなりがちです。当然ながら、こうした課題に向き合っていくことはセンターの主たる業務ではありますが、一方で、多様な人々が関われる『楽しい仕掛け』を考えていくことも、同様に重要です。

町民の皆さまをはじめ、多くの人々が田布施町の農業に関心を持ち、地域全体で盛り上がっていく活動にしていきたいと思えます。今後のセンターの活動に向け、皆さまにお力添えいただければ幸いです。



マネージャー：堀米 大樹
(副町長/地域プロジェクトマネージャー)